

I 決算概況

平成20年度及び平成21年度一般会計決算

(単位:億円)

- (1) 平成 21 年度一般会計の決算内容についてみると、歳入決算額は 3 兆 2,060 億円で、前年度に比べ、景気の急激な悪化により法人二税などの府税収入が大幅に減少したものの、国庫支出金、地方交付税、貸付金元利収入の増加等による諸収入の増加により、2,769 億円、率にして 9.45%増加している。
- (2) 一方、歳出決算額は 3 兆 1,654 億円で、前年度に比べ、財政再建プログラム案に基づく人件費は減少したものの、国の経済対策や社会保障関係経費の増加等により 2,540 億円、率にして 8.72%増加している。
- (3) 形式収支は、406 億円の黒字を計上し、4 年連続の黒字となった。形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も、311 億円の黒字となり、前年度に比べ、207 億円の改善となっている。
- (4) 一般会計と特別会計（Ⅱ 3 特別会計 参照）の額を合算したのから地方公営企業会計に係る収支を除いた普通会計ベースでの実質収支は、325 億円となっており、前年度に引き続き赤字を回避している。財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、国庫支出金、地方交付税の増加、国の経済対策や社会保障関係経費の増加等により、前年度より 0.3 ポイント悪化し、96.9%となった。

		21年度	20年度	差引
予 算 現 額		32,282	29,561	2,721
歳 入 決 算 額 A		32,060	29,291	2,769
主 な 科 目	府 税	10,946	13,567	△ 2,621
	法 人 二 税	2,944	5,235	△ 2,291
	地 方 消 費 税	2,421	2,557	△ 136
	地 方 譲 与 税	508	42	466
	地 方 特 例 交 付 金	153	190	△ 37
	地 方 交 付 税	2,912	1,798	1,114
	国 庫 支 出 金	3,891	2,486	1,406
	繰 入 金	417	432	△ 15
	諸 収 入	6,687	5,208	1,478
	府 債	3,618	2,736	882
歳 出 決 算 額 B		31,654	29,114	2,540
主 な 科 目	義 務 的 経 費	11,489	11,949	△ 459
	人 件 費	8,286	8,669	△ 383
	公 債 費	2,790	2,893	△ 103
	扶 助 費	414	388	27
	投 資 的 経 費	2,303	2,082	221
	そ の 他 経 費	17,862	15,084	2,778
	補 助 費 等	8,863	8,208	655
	貸 付 金	6,284	4,824	1,460
形 式 収 支 C=A-B		406	177	229
翌年度繰越財源 D		95	73	22
実 質 収 支 C-D		311	104	207

注：形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

実質収支＝形式収支－翌年度繰越財源(翌年度繰越額から未収入特定財源を差し引いたもの)